

| 1-1 建物概要 |                               | 1-2 外観 |                  |
|----------|-------------------------------|--------|------------------|
| 建物名称     | 海老名地区再整備事業(海老名総合病院増築工事)新棟整備計画 | 階数     | 地上6F 地下1F        |
| 建設地      | 神奈川県海老名市河原口1313番1 他16筆        | 構造     | S造               |
| 用途地域     | 地域指定なし・防火地域指定なし               | 平均居住人員 | 1,860 人          |
| 地域区分     | 6地域                           | 年間使用時間 | 8,760 時間/年(想定値)  |
| 建物用途     | 病院                            | 評価の段階  | 実施設計段階評価         |
| 竣工年      | 2023年10月 予定                   | 評価の実施日 | 2021年2月1日        |
| 敷地面積     | 7,153 m <sup>2</sup>          | 作成者    | 清水建設株式会社一級建築士事務所 |
| 建築面積     | 4,506 m <sup>2</sup>          | 確認日    | 2021年2月8日        |
| 延床面積     | 18,994 m <sup>2</sup>         | 確認者    | 清水建設株式会社一級建築士事務所 |

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

環境品質 C  
環境負荷 L

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能  
Q3 室外環境(敷地内)  
LR1 エネルギー  
LR2 資源・マテリアル  
LR3 敷地外環境

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.4

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.5

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.4

LR のスコア = 3.4

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

| 3 設計上の配慮事項   |   |  |
|--|---|--|
| <b>総合</b><br>利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。                 |   | <b>その他</b><br>特になし。                          |
| <b>Q1 室内環境</b><br>住居・宿泊部分: カーテンと底を組み合わせることで眩しさを抑制します。JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。自然換気有効開口面積が居室床面積の1/15以上。 | <b>Q2 サービス性能</b><br>個室10㎡/床で、かつ多床室8㎡/床以上。住居・宿泊部の天井高2.5m以上。階高: 3.9m以上。                     | <b>Q3 室外環境(敷地内)</b><br>特になし。                 |
| <b>LR1 エネルギー</b><br>[BPI] = 0.87<br>[BEI][BEIm] = 0.82   | <b>LR2 資源・マテリアル</b><br>節水コマなどに加えて、省水型機器(節水型便器)を用いている。LGS使用している。ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。 | <b>LR3 敷地外環境</b><br>LCCO <sub>2</sub> 排出率85% |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される